

2017年2月21日

嬉野市長 谷口太一郎 様

原発なくそう！九州玄海訴訟原告団
団長 長谷川 照
原告 新井良一
原発なくそう！九州玄海訴訟弁護団
弁護士 東島浩幸

玄海原発再稼働に関してのお願い

嬉野市民の安全と生活を守るためにいつもご尽力いただきありがとうございます。
また、玄海原子力発電所の再稼働に同意しない姿勢を明らかにされたことに敬意を表します。
嬉野温泉やおいしい嬉野茶は佐賀県民の宝です。

私たちは『原発なくそう！九州玄海訴訟』の原告団です。2012年1月31日に、玄海原発の再稼働を止めるためには裁判に訴えるしかないと考え提訴しました。現在の原告数は1万226名です。

福島原発事故からもうすぐ6年になります。現在も8万人を超える人たちが避難生活を余儀なくされています。避難指示が解除されたところもありますが、放射能の心配やインフラの問題があって全体の帰還率は解除地区人口の13%と報道されています。健康被害も心配されています。福島県の子どもたちの甲状腺がんは、がんの疑いを含めて183人（11月末現在）になりました。福島県産米の出荷規制（1キログラムあたり100ベクレル以上）は報告されなくなりましたが、海では漁獲規制が続いています。

国費350億円を投じた凍土遮水壁は効果が不明で、福島第一原発の汚染水はまだ増え続けています。1～3号機の熔融燃料は、原子炉圧力容器と格納容器のどこにあるのかさえはっきりせず、廃炉作業の困難さが言われています。

原発で発電する電気は安いと言われ続けてきました。しかし、一度重大事故が起こるとどうでしょうか。福島原発事故の賠償・除染・中間貯蔵・廃炉の費用は現在21,5兆円と試算され、国民に電気料金に上乗せして負担させる計画です。

重大事故は繰り返されないでしょうか。原子力規制委員会は、審査に合格しても重大事故が起こる可能性を否定されていません。重大事故が起きる可能性は低い（福島では起こったのですが）とされて、事故が起こることを容認されているようです。

「大地を受け継ぐ」という映画があります。福島原発から65キロ離れた須賀川市も放射能に

汚染され、悲観したキャベツ農家の樽川さんは自死されました。息子の和也さんは、自分たちでさえ食べたくないキャベツを育て販売しなければ生活できない苦汁と、父親の死を受け入れ先祖代々守り続けてきた大地を受け継ぐ決意を語っています。

玄海原発で重大事故が起こったら、私たちはあきらめずに逃げなければなりません、失うものはあまりにも多いと考えざるを得ません。

事故が起こった場合の住民の苦しみと重大事故が起こる可能性が否定されない現実を考えていただいて、玄海原発の再稼働に引き続き反対していただきますようお願いいたします。

要望事項

- 1、山口知事に玄海原発の再稼働に同意しないようお願いしてください。
また、嬉野市で「玄海原発再稼働についての市民説明会」を開催できるように県に要請してください。その際、一方的な説明ではなく、市民の質問に回答することも要請してください。
- 2、嬉野市独自で、以下の取り組みをお願いします。
 - (1) 市長自ら、福島原発の事故現場と被災地を視察してください。
原発から30キロ以上離れているのに現在も全村避難が続いている飯館村や原発事故で避難指示が出たために津波被災者の救護活動を断念せざるを得なかった浪江町等を視察・調査して市の原子力災害政策に役立ててください。
 - (2) 九州電力に市民を対象に住民説明会を開くように要請してください。
「玄海原発で重大事故が起こった場合、嬉野市が放射能で汚染される可能性があるのかないのか」、また、「市が汚染された場合、九電は除染や補償をどう考えているのか」等の問題が市民に明らかにされる必要があると思われまます。
 - (3) 規制委員会も30キロ圏外でも放射能に汚染される可能性があることを認めていますので、嬉野市が汚染されることを想定して次の①、②を検討してください。
 - ① 屋内退避は可能かどうか
(地震で家屋等が損傷した場合や断水、停電、流通が止まった場合、福祉サービスや医療等の提供が困難な場合、また30キロ圏内からの避難者と地震で家屋が損壊した嬉野市民の避難施設が競合して不足する場合)
 - ② 要援護者(在宅、入院患者、福祉施設入居者等)の避難は可能か
(名簿の作成、搬送手段、受け入れ先等)
 - (4) 事故時に避難したい妊婦や乳幼児、子どもの一次避難先を少なくとも原発から50キロ以上離れている場所に確保して、周知してください。
 - (5) 甲状腺がんを防ぐための安定ヨウ素剤を、まず備蓄して必要性を周知してください。

30キロ圏外で6割の子どもにすでに配布されている兵庫県篠山市の例があります。また、地震等で家屋が損壊した場合は、放射能の雲が来る前に服用が必要と思われます。報道によるとベルギーは国内の全住民1100万人に安定ヨウ素剤を提供するようです。(①安定ヨウ素剤による副作用の影響はほとんどないことが明らかになっています②服用は1回に大人は2錠で、1錠あたりの単価は約6円と安価です③屋内退避では外部被曝は軽減できても、内部被曝は避けられません)。

- (6) 原発事故が起こった場合に備えて、市民はどうやって家族や財産を守ったら良いのかという情報を、できるだけ早く市民に提供してください。
- (7) 事故が起こった時にパニックにならないためにも避難訓練や原子力防災研修会(例、兵庫県篠山市)を行って市民の意識を高めるとともに、市として何が問題かを把握してください。
- (8) モニタリングポストを市役所の各庁舎に設置して常時データを公開してください。
事故時に停電等で市の対策本部が市内の放射能汚染状況を把握できない可能性があるため、市役所の各庁舎で測定できれば的確な判断ができます。また、市民も通常の放射線量を知っておくことで、災害時の冷静な判断につながります。すでに公開されている市町もあります。また、各公民館に放射線測定器やガイガーカウンターを購入して配置してください。
- (9) 嬉野市で熊本のような地震と原発事故が重なった場合、市民は屋内退避や避難が無事にできるかという問題について、どのようにお考えか、見解をお聞かせください。
- (10) 玄海原発の再稼働について『市長と語る会』を開いて、市民の意見を直接聞いてください。

以上、よろしくお願いいいたします。また、回答を3月20日までにお願いたします。

連絡先 嬉野市嬉野町大字下宿甲1781番地1
新井良一
TEL 0954-43-0505